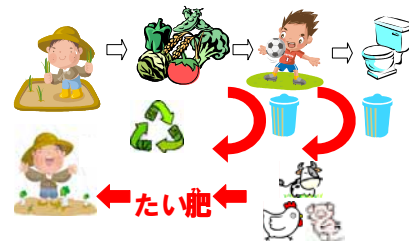


田んぼと畑は生きている

【趣旨】 近年、全国各地のさまざまな機関で、田んぼやその周辺の観察活動が行われています。田んぼは単に主食のおコメをつくるだけの場所ではなく、水の循環や、生態系の生物多様性など、人をはじめとした生きものの暮らし全体を支える役割もしていることが徐々に認識されるようになってきています。“生きもの”の視点から、四季を通じて田んぼや畑を見るとすることは、おコメへの理解、食への理解、農業への理解、消費社会のしくみへの理解、環境への理解、自然科学への理解、等々、いろいろな見方を広げていきかけになります。

今回はまだ寒くて、カエルやトンボなどは姿が見えない時期ですが、冬の田んぼや畑でどんなことに気づくことができるか、皆でいっしょに考えましょう。



【日時】 2009年3月8日(日) 9時半～15時

【場所】 高知県土佐郡土佐町「有機のがっこう土佐自然塾」講義室とその周辺

【集合】 ①高知大農学部キャンパス正門…8時15分

・高知大学農学部正門～土佐自然塾は、バス無料送迎いたします

・申込み時に送迎希望の有無をお知らせ下さい。自家用車の駐車スペースは用意します

②有機のがっこう土佐自然塾……9時半

【主な対象】 小学校5年生以上(小学生は保護者同伴) 定員20名

農業分野や教育分野などに従事されている方 定員20名

【参加費】 1人あたり300円(保険料を含む)

【持参物】 屋外で動きやすく汚れてもよい服装と長靴、タオルと着替え、水筒など

【内容】 『田んぼはおコメをつくるだけの場所…?』

(コープ自然派こうち田んぼの生きもの調査実行委員会 松林直行)

『土佐自然塾における循環型農業の取組みの紹介』

(有機のがっこう土佐自然塾 山下修)

『土佐町における循環型農業の取組みの紹介』

(土佐町役場産業建設課 筒井敬二)

『土ってなに? たい肥はどうして必要なの?』

(高知大学総合科学系黒潮圏総合科学部門 田中壮太)

『冬の田んぼへ、生きものの気配を探しに行こう!』…屋外。天候により変更あり

(NPO法人四国自然史科学研究センター 谷地森秀二;水生生物研究家 石川妙子)

『田んぼの生きもののお話～カエルの視点から』

(NPO法人四国自然史科学研究センター 谷地森秀二)

体験コーナー:顕微鏡で小さな生きものを見てみよう(水生生物研究家 石川妙子)

試食コーナー:土佐町産カレーなど(有機のがっこう土佐自然塾提供)

【申込み〆切】 3月6日（金）必着（延長しました！）

※申込み多数の場合は、先着順で定員になり次第、締め切らせていただきます

【申込み方法】 必要事項をご記入のうえ、E-mailまたは郵送で下記までお申込み下さい
《必要事項》

参加者および保護者の氏名、年齢、住所、連絡先電話番号、
集合場所（高知大学農学部正門 or 土佐自然塾現地）、バス利用の有無

【お申込み・お問合せ】

高知大学総合科学系黒潮圏総合科学部門 田中研究室

〒783-8502 高知県南国市物部乙 200 E-mail : tanbo09@yahoo.co.jp

TEL. 080-2999-2442（お問合せのみ）

【主催】 高知大学農学部（H2O 高知大学学長裁量経費採択事業「無農薬有機栽培農業に関する研究を通じた中山間地農業振興と小中学生の理科教育への貢献」）

【協力】 有機のがっこう土佐自然塾
コープ自然派こうち田んぼの生きもの調査実行委員会
NPO 法人 四国自然史科学研究センター

【後援】 土佐町

※お申込みの際にお知らせいただいた個人情報は、本事業以外の目的で第三者に提供はいたしません

※本事業において撮影したビデオや写真の映像については、高知大学ホームページ等における本事業報告などに使用される場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、不都合がある場合は事前にご連絡ください。

【会場へのアクセス】 <http://www.tosa-yuki.com/12.html>

所在地	有機のがっこう「土佐自然塾」 高知県土佐郡土佐町土居630番地 TEL.0887-82-1700
車の場合	高知自動車道 大豊ICから約20分
JRの場合	土讃線 大杉駅下車 県交通バス 田井行き 田井下車（約30分） 田井から徒歩20分

